

小棹 ふみ子氏

(いなか・ふみこ)

社外取締役



〈抱負〉社外取締役の役割は、企業の全てのステークホルダーの付託に応え、企業価値の持続的な向上を達成するため、中立的、客観的な立場から見解を提供し、グループシンクに陥らないことを担保することが必要であり、経営陣が経営戦略をスヒード感豊かに策

定、実行することを支援、監督することが責務。また、ダイバーシティマネジメントの観点からも、私が培った経験からの視点や新しい切り口で忌憚（きたん）なく意見を述べ、より一層のガバナンスの向上に貢献していきたい。

〈寸描〉明朗、闊達（かつたつ）、労を惜しまない人柄で多くの人から信頼を集めてきた。かつての職場にあつては「女性初の〇〇」を多く経験し道を切り開き、後ろに道をつくった。経験に裏打ちされた判断力は、行政機関のトップとして危機管理、人材育成など組織運営で発揮された実績があり、現在でも多方面で活躍している。一方で、書道の達人の一面を持ち、凜（りん）としたシャープな書体

は多才な和に通じる一端をつかわせる。会社経営においても幅広い課題の把握とその分析力、審美眼は企業価値向上に向けて発揮される。

〈趣味〉ガーデニング、書道

〈座右の銘〉温故知新

〈略歴〉1973年4月国税庁入庁、78年3月東京理科大学学部卒。2011年7月関東信越国税局行田税務署長、13年7月東京国税局調査二部次長、14年7月同日本橋税務署長、15年8月税理士登録・小棹ふみ子税理士事務所（現任）、16年6月飛鳥建設社外監査役、17年3月建設技術研究所社外取締役（現任）、同年6月メタウォーター社外取締役（現任）、20年7月トールエル社外取締役（監査等委員）（現任）、23年6月から現職。群馬県出身。54年4月17日生まれ、69歳。

